

「朝日賞」受賞候補者の推薦募集

昭和59年度「朝日賞」受賞候補者推薦募集が朝日新聞社よりきています。

朝日賞は、昭和49年度まで、文化・社会奉仕・体育の3部門に分かれていましたが、50年度からこれを一本化して、学術・芸術・科学技術・社会福祉・体育、その他あらゆる分野を選考の対象とし、各分野で傑出した業績をあげ、わが国の文化・社会の発展と向上に多大の貢献をした個人または団体に贈ることになりました。

今年度は原則として、昭和59年1月1日から同12月31日までに完成または完成予定の業績を対象としますが、長年にわたる業績にも贈ることができます。また賞は、

正賞を賞牌（はい）とし、別に副賞（賞金=1件につき百万円）を贈ります。受賞者と業績は、昭和60年正月の朝日新聞紙上で発表し、同1月中旬に贈呈式を行います。

応募者は、9月末日までに下記担当者までお申し込み下さい。

記

〒305 茨城県筑波郡谷田部町長峰1-1
気象研究所
竹内清秀
TEL. 0298-51-7111(代)

日本気象学会関西支部昭和59年度第1回例会案内

昭和59年度第1回例会を下記のとおり開催します。今回はタイムスケールが10日から数年程度にわたる種々の現象を取り上げます。たとえば、ブロッキングモンスーン、季節変動、準二年周期振動、エルニーニョ等々に関連する諸問題を、長期予報、資料統計、超音波の力学、大気大循環等のさまざまな立場から議論したいと思えます。会員の皆さんの積極的な参加を期待します。

1. 日時 昭和59年10月5日（金）13～17時
2. 場所 京都地方気象台

（京都市中京区西ノ京笠殿町38）

3. テーマ 長周期の気象変化

4. 講演申込方法

(1) 申込先 大阪管区気象台内

日本気象学会関西支部事務局

(2) 申込締切 昭和59年8月25日（土）

申込受付後「例会講演要旨集」用の原稿用紙を送ります。原稿は昭和59年9月10日（月）必着で関西支部事務局へ送って下さい。